

## 先輩からのメッセージ



設計部  
桑名 伶  
(2017年入社)

私は大学で土木工学を専攻しているながら、全く関係のない業界へ就職をしていました。そんな最中、平成27年9月関東・東北豪雨による災害ボランティアに参加し、改めて人々の暮らしの安心・安全に関わる仕事がしたいと考え当社に入社しました。

現在は、設計部の道路・河川部門に所属しており、その業務の一つに災害復旧があります。災害復旧業務は、災害発生から査定までの2か月間に現地調査や資料作成を行うため、スピードと正確性が求められます。実際に初めて災害業務を担当したときは何をすればよいかわからず、頭が真っ白になりました。そんな時、不慣れな私を気にかけてながらも素早く業務をこなす先輩たちの姿がとても頼もしく、いつかは超えたい目標となりました。

そんな未来の自分像が見つけられる場所、それが国土建設コンサルタントです。

私は2019年の台風19号で自宅近くの堤防が決壊し、浸水の被害にあったことでインフラの重要性を知りました。その時、このような被害を少しでも軽減するために何ができるだろうと考え、当社に入社しました。当時の私は文系の大学を卒業し、建設コンサルタント業とはかけ離れた分野で働いていました。また、土木についての知識は一切なく、CADってなんだろう？という状態での入社でした。0からのスタートでまもなく1年、現在は設計部でアシスタントとしてCADを用いた図面作成、報告書や資料の取りまとめの手助けを行っています。まだわからないことばかりですが、何も無いところからのスタートだからこそ、新しいことをどんどん覚えていける楽しさを実感しながら日々働いています。また、道路や施設など少しでも自分が関わったものを見つけるたびに、自分も地域のために貢献できているというやりがいを感じています。未経験でもやってみたい気持ちがあれば地域インフラに携わることができます。はじめは難しそうだと思いましたが、今ではチャレンジして正解だったと思っています。皆さんもぜひ飛び込んでみてください。



設計部  
神永 実花  
(2020年入社)



新入社員は先輩についてアシスタントからのスタート。基本を勉強しながら経験を重ね、3年から5年を目安に少しずつ責任のある仕事についていきます。